

⑨ 3.出来形及び出来ばえ II.品質	工種 法面 工事	a	a'	b	b'	c	d
		<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
		<p>【評価対象項目】 [共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. その他（理由) <p>[種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 5. 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. ネットなどの境界に隙間が生じないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 吹付け厚さが、均等であることが確認できる <input type="checkbox"/> 9. 使用する材料の種類、品質及び配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. その他（理由) <p>[コンクリート又はモルタル吹付工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 12. 使用する材料の種類、品質及び配合等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 金網が、破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 吹付け厚さが、均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. クラックや剥がれが無い。 <input type="checkbox"/> 22. その他（理由) <p>[現場打設法関係（プレキャスト法打設含む）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 23. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 使用する材料の種類、品質及び配合等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 25. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 27. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 28. 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 29. 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 30. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 31. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 32. その他（理由) 					
		①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。					
		次ページに続く					

3.出来形及び出来ばえ
II.品質

法 面
工 事

[アンカー、ロックボルト工]

- 33. 削孔深さ、配置、せん孔角度が適正であることが確認できる。
- 34. 部材に錆、傷がないことが確認できる。
- 35. グラウト注入が適正に施工されていることが確認できる。
- 36. 緊張、定着、頭部処理が適正であることが確認できる。
- 37. 品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90%以上	a	a'	b	a'
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。